学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立枚方支援学校
校長名	西村 誠三

開催日時	令和7年2月18日(火) 15:20～17:00
開催場所	府立枚方支援学校 会議室
出席者(委員)	荒木会長、山内委員、中口委員、吉田委員、中岡委員、宗本委員
出席者(学校)	西村校長、太田准校長、豊島教頭、佐藤教頭、奥村事務長、植木首席 筒井首席、長濱首席、中川首席、森脇指導教諭、松藤教諭
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 学校経営計画及び学校評価(小中学部...資料1、高等部...資料2) 令和7年度 学校経営計画案(小中学部...資料3、高等部...資料4) 学校教育自己診断について(資料5) 令和6年度卒業生進路状況
備考	

議題等(次第順)

- ・校長あいさつ
- ・令和6年度学校経営計画及び評価(小中・高)
- ・令和7年度学校経営計画案(小中・高)
- ・学校教育自己診断について
- ・本日のまとめ
- ・准校長あいさつ

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 【令和6年度学校経営計画及び学校評価】
(ご意見等)
- ・PTA学年委員会より、学校教育自己診断等のアナウンスをした。保護者同士の口コミで提出を意識した方もいたようだった。期限を短く、埋もれてしまわないようにするとより回答率が上がるかもしれない。
 - ・ブログにPTAが参加している学校もある。
 - ・他校では緊急時を想定して迎えをお願いするような訓練をしている学校もある。地域の避難所に行きにくい支援の必要な児童生徒をどう理解してもらうか、どう対応するかは府支Pでもよく話題に上がる。
 - ・災害時は必ず訓練が生きてくる。日頃の訓練は大切である。
 - ・就学に悩む、就学前のご家庭が増加している。
 - ・残業時間は減ったが、授業準備の時間は減り、業務の負担感は増えていることから→支援の多様化・人手不足によって起こっている？根本の問題を見失わないように業務改革を進めていくことが必要。
- 【令和7年度学校経営計画案】
- ・枚方支援学校のストレスチェックが高く、横ばいであることについて:低い数値の学校もある中、高く、横ばいであるこの学校の特徴はあるか。
→小中学部のマンモス化による教員数減→相談できる教員を。
- 【学校教育自己診断について】
(ご意見等)
- ・生徒の回答率の増加にむけて課題がある。小学部が高く、中高等部が下がっていることに理由はあるか。そこに回答率を上げるための気づきがあるのでは→小学部は保護者のサポート度が高い可能性。
 - ・保護者はかなり回収率が上がったが、来年度、さらに上げることができるのか→提出に慣れていただくと、だんだん上げていくのではないか。
 - ・いじめに関する否定的な意見をぜひ0%に→教職員の否定的意見0%を目指す。
 - ・いじめに関して、学年学部を越え、今何が起きているのか教職員が情報共有できるとよい。
 - ・外部機関との連携強化、例えばどんな機関、どんな内容を？→不登校の児童生徒への支援、医療機関との連携にニーズがある。
 - ・駅前/校門前のあいさつが充実してきた。今は、地域の人たちにとって、児童生徒数の増加に伴い自家用車等がどこまで増加するかなどが懸念点。
- (補足)
- ・教育センターとの連携をしながら人権に関する取り組みを行う可能性がある。
 - ・不登校の児童生徒への支援の拡大を行う予定。
- 【令和6年度卒業生の進路状況】
- ・中学校も支援の必要な児童生徒はとても多い。中学校からの進学先も多様化している。支援学校から大学に行くケースも出てきた。多様化はするが、その選択先で困り感がなく学べるように支援していく必要がある。
→進路先の情報を教員が学び、共有することを進めたい。

次回の会議日程	
日時	令和7年6月 15:20～
会場	府立枚方支援学校 2階 会議室